



秋。クマから身を守る基本



実りの秋、食欲の秋…。クマは、冬眠の前に餌を求めて活発に活動します。県内の山はクマの生息地ですから、どこの山でもクマと出遭う可能性があります。クマによる人身被害を防ぐには、「クマと遭わない」「クマを引き寄せない」ことです。それでも出遭ってしまったら、「興奮しない、させない」ことです。

クマと遭わないために

- 1 秋、クマの餌になる実がなるところには行かない！
○9月からはブナやクルミ、クリ、ミズナラの林。さらに10月からはヤマブドウ、カキの実がなっているところも注意が必要です。
クマのいそうなところへは近づかないことです。
餌場の近くの藪や茂みでは、クマが休息している場合もあるので要注意です。
- 2 頻繁に物音や声を出して歩く！
○鈴、笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら歩いてください。
人の接近をクマに知らせれば、クマは人を避けます。
- 3 視界の悪いとき、見通しの悪い場所には立ち入らない！
○早朝、夕方、霧などで視界の悪いときや、日中でも見通しの悪い林には立ち入らないでください。
クマは明るい場所を避け、暗がりを好んで活動します。
- 4 クマを追い払ってから戸外へ出る！
クマが家の周りにはいる場合があります。家から外に出るときは、笛・大声・ラジオ・爆竹などでクマを追い払ってから戸外に出るようにしてください。
大量出没の年は、平野部の民家にまで出没しています。

クマを引き寄せていませんか？

- 1 ゴミ捨て、食べ物の持込みは厳禁！
○キャンプや登山、溪流釣りなどで出たゴミは持ち帰っていますか？
○人家のまわりに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしていませんか？
○お墓の供え物は持ち帰っていますか？
ゴミなどに餌付いたクマは近くに居座り、攻撃的になります。
- 2 ハチの巣やカキ、クリ、ドングリ、クルミ、ギンナンなどは注意！
○人家はもちろん小屋や神社の祠などのハチの巣を放置していませんか？
○人家のまわりの収穫予定のないカキ、クリなどは早めに撤去していますか？
人がいるところであっても、好物があればクマは様子を覗いてやってきます。

それでも、クマに遭ってしまったら

- 1 とにかく落ち着く！
○騒がず、走らず、ゆっくり後退してください。決して走って逃げたりしてはいけません。
クマは逃げるものを追いかける習性があります。
クマを興奮させないことが大切です。クマは木登りも水泳も走るのも得意です。
○子グマであっても絶対近づかないでください。
近くに親グマがいます。危険ですので、速やかに立ち去りましょう。
- 2 攻撃が避けられないときは急所を守る！
○地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭と首を守ってください。

目撃情報などは市役所・町役場または警察署へ

目撃した場合や痕跡を見つけた場合は、直ちに市役所・町役場または最寄りの警察署に連絡してください。